

【広島市消費者物価指数】

1 平成24年2月の動向

- 広島市総合指数（100.2）は前月比で2か月連続の上昇。前年同月比は上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.9）は前月比で上昇。前年同月比は同水準。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.2）は前月比で上昇。前年同月比は6か月連続の下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.2	0.3	0.1
生鮮食品を除く総合指数	99.9	0.4	0.0
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.2	0.4	▲0.5

3 前月からの動き

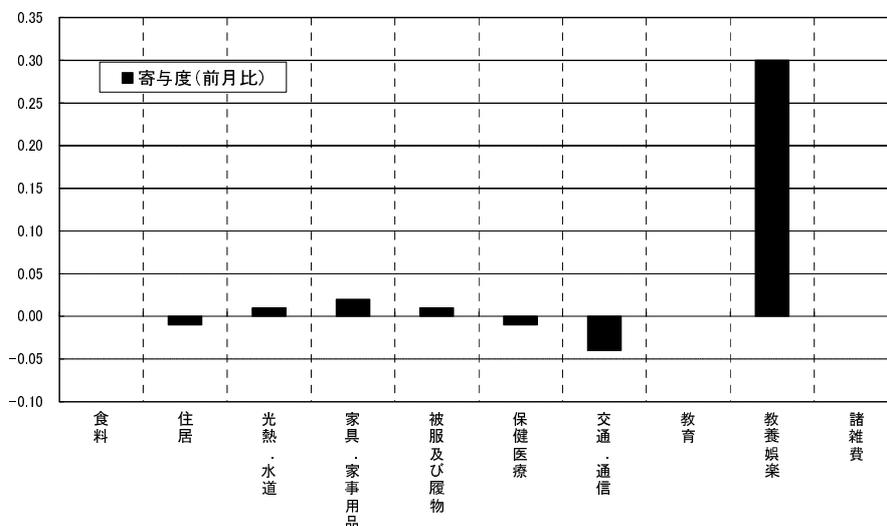
～教養娯楽は上昇，交通・通信は下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.2	101.2	99.4	104.7	102.0	96.2	98.7	100.7	98.2	96.6	103.5
前月比 (%)	0.3	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	▲0.3	▲0.3	0.0	2.8	0.0
寄与度	0.3	0.00	▲0.01	0.01	0.02	0.01	▲0.01	▲0.04	0.00	0.30	0.00

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目
 教 養 娯 楽：教養娯楽用耐久財（前月比 24.7%，寄与度 0.37）等
 交 通 ・ 通 信：交 通（前月比 ▲1.3%，寄与度▲0.03）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	24.7%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲1.0%
調理食品 (うなぎかば焼き 等)	1.3%	魚介類 (ぶり 等)	▲2.8%
家事雑貨 (マット 等)	2.9%	交通 (料金[JR 新幹線] 等)	▲1.3%
洋服 (婦人上着 等)	0.9%	野菜・海藻 (えのきだけ 等)	▲1.0%
菓子類 (ケーキ 等)	1.2%	シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	▲2.3%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道が上昇し、被服及び履物、教養娯楽が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.1	0.4	0.0	4.1	0.8	▲ 3.7	▲ 1.1	0.7	▲ 0.2	▲ 1.3	▲ 0.3
寄与度	0.1	0.10	▲ 0.01	0.31	0.03	▲ 0.17	▲ 0.05	0.10	▲ 0.01	▲ 0.15	▲ 0.02

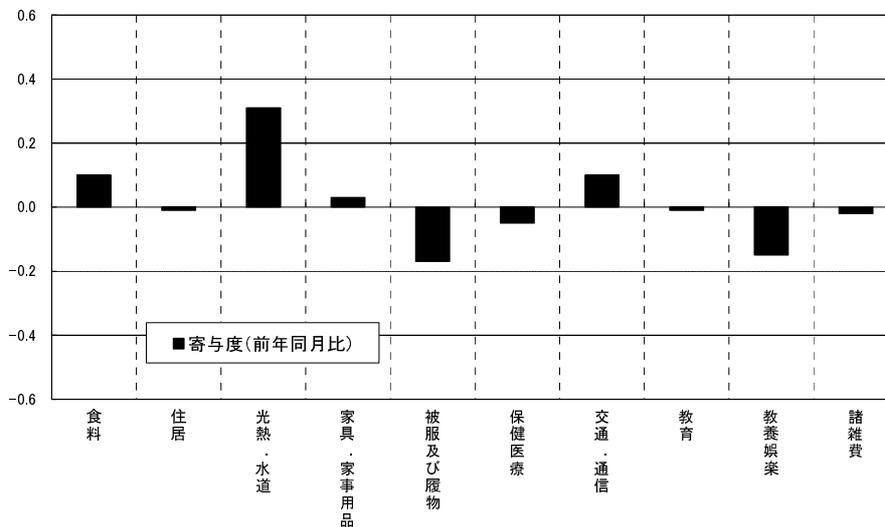
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：電 気 代 (前年同月比 6.1%, 寄与度 0.21) 等

被服及び履物：シャツ・セーター類 (前年同月比 ▲12.2%, 寄与度 ▲0.13) 等

教 養 娯 楽：教養娯楽用耐久財 (前年同月比 ▲4.1%, 寄与度 ▲0.08) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
電気代 (電気代 等)	6.1%	シャツ・セーター類 (婦人セーター[長袖] 等)	▲12.2%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	1.8%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲1.3%
ガス代 (都市ガス代 等)	4.3%	教養娯楽用耐久財 (カメラ 等)	▲4.1%
穀類 (うるち米 等)	3.4%	油脂・調味料 (ドレッシング 等)	▲3.2%
果物 (りんご[ふじ] 等)	5.5%	菓子類 (アイスクリーム 等)	▲2.0%